

# 市之川公民館だより

平成 28 年 2 月号  
(No.506 号)  
発行；市之川公民館  
西条市市之川 6678-1  
Tel&Fax； 56-3300

## 2 月 如月 (きさらぎ)

立春をひかえ、いよいよ寒くなってまいりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。  
1月19日(火)には、今年初めて雪が降って、木々や運動場を白く染めました。  
いよいよ、冬本番となりました。お風邪などひかれませぬよう、温かくして、今月も、皆様お元気でおすごしください。



### 《2月の行事予定》

日	曜	行事・時刻・場所
6	土	西条市人権・同和教育研究大会 13:30～ 中公
11	木	祝 建国記念の日
13	土	カラオケ会 10:00～ 集会室
27	土	カラオケ会 10:00～ 集会室

※ 公民館フェスティバルで、市之川鉾山について講演をしました。



※ 1月19日(火) 今年の初雪



文芸欄

○ 路傍の草 踏んで踏まれて 花は咲く  
 ○ 小春日の 落ち葉踏んで 墓参り  
 ○ 切り干しの 大根干して 年走る  
 ○ ふきのとう 霜の柱も なんのその  
 ○ おでん香 妻の呼ぶ声 待ちきれず  
 ○ 一句書く 炬燵の番も 楽しさよ  
 ○ カラオケの 音も楽しく 妻は留守  
 ○ 悲しいと 犬は遠吠え 雌は逝く  
 ○ 年月の 流れは早く 趣味多し  
 ○ ラーメンの 汁に浮かべて 猪はゆく  
 ○ 今年も 穏やかなるか 陽を拝む  
 ○ 椿咲き 庭の花壇も にぎやかに  
 ○ 早々と 今年も過ぎし お正月  
 ○ 冷え込みて スキー場の灯 明々と  
 ○ 風雪に 耐えて忍びて 千荷抗  
 ○ 雪降りて どれが花やら 寒桜



正 正 正 正 正 正 正 正 正 正 正 正 正 正 正 正  
 館 館 館 知 知 知 正 正 正 正 正 正 正 正 正 正  
 長 長 長 歓 歓 歓 長 長 長 長 長 長 長 長 長 長

行動する年でありたい

新しい年がやってきました。新年を迎え、今年こそはと抱負を掲げ、一念発起した方も多いと思います。

去年は、「同和対策審議会答申」が出されてから、ちょうど50年の節目の年でした。これは、政府が「同和問題の解決を国策として取り組む」ことを初めて確認した歴史的なもので「早急な解決こそ国の責務であり、同時に国民的課題である」「恥ずべき社会悪を払拭して」と、答申の「前文」にあります。

しかし、この50年の間に、国民的課題として認識されて、この社会悪を払拭でき

たでしょう。

故中山英一さん(元長野県同和教育推進協議会顧問)は、次のように言っています。

差別とは、

- 人をばかにすること
- 人を仲間はずしすること
- 人をいじめること

そして、差別は「自分に責任がないこと」「自分の努力ではどうすることもできないこと」を問われることでもあります。だから、しんどいのです。だから、不合理なのです。

「がばいばあちゃん」を知っていますか。1975年、島田洋八さんと漫才コンビ「B&B」を組んだ島田洋七さんの祖母です。洋七さんが祖母から学んだことを本にして出版しています。

その中に、かばいばあちゃんの教えが書かれています。「聖徳太子も死んだし、徳川家康も死んだ。うちのじいちゃんも死んだばい。そして私もいつか死ぬ」

がばいばあちゃんにとって、聖徳太子もじいちゃんも対等なのです。

また、「見方を変えれば、いろんな見方がある」という教えも書かれています。

私たちは、様々な視点を身に付け、物事の裏に隠されている本当のことを見抜く力を育まなければなりません。差別を見抜き、解決を本当の国民的課題としていくためには、「正しく知る」ことではないでしょうか。

今年は、「同和対策審議会答申」から51年を迎えます。それぞれが日常の中で、「同和対策審議会答申」意味を問い、社会悪を払拭するために、新しい年を前向きに力強く歩んで行きましょう。